

『輝け雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2020年8月
第82号

公式戦目指して



沼田ヤングイーグルス



練習頑張るぞ!!

沼田リトルポプラ

第2回定例会 2・3 ページ

- 令和2年度一般会計補正予算
商工業振興費の補助金
防災対策費など

町長に問う 4~7 ページ



久保議員がコロナウィルス
による影響からの学校教育に
ついて質問したほか、6名の
議員が質問を行いました。

シリーズ検証 9 ページ

第1弾

- 一般質問のその後を追う
質問者 上野議員
「スポーツ環境の改善について」

議会が動き出す 10・11 ページ

- 議会改革特別委員会
魅力があり、町民の皆様と共に開かれた
議会を目指すために

令和2年 第2回 定例会

6月18日～19日

令和2年第2回定例会が開かれ、町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、7名の議員が一般質問を行いました。

上程された主な議案

◎令和元年度一般会計繰越明許費に係る報告

「新型コロナウイルス緊急経済対策事業」として、飲食店の支援に係る経費、405万円を令和2年度へ繰り越しました。

◎沼田開発公社の事業計画及び決算に関する報告

「自動車学校」の令和元年度決算と令和2年度事業計画が報告されました。少子化などにより、普通車の入校生が予想以上に減少しました。

◎令和元年度一般会計補正予算に係る専決処分を承認しました。

年度末の事業確定による補正予算を承認しました。

◎条例の改正

「町税条例の一部を改正する条例」「沼田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」「沼田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例」「沼田町手数料条例の一部を改正する条例」「沼田町介護保険条例の一部を改正する条例」「沼田町奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例」を承認しました。

◎令和2年度補正予算

〔一般会計〕

〔主な内容〕

企画費

・産学官連携によるICTを活用した見守り支援事業

委託料 1000万円
振興費

・企業誘致等推進費

179万円
沼田町に企業のサテライトオフィスを誘致するための経費



元厚生病院職員住宅を改装したサテライトオフィス

子育て支援費

・沼田町子育て世帯への臨時給付金 330万円

沼田厚生クリニック運営費

・沼田厚生クリニック加湿器設置工事 111万円

農業総務費

・強い農業・担い手づくり総合支援交付金 561万円

農産加工場製造費

・農産加工場製造費 142万円

農産加工場の特産品や新商品開発に係る経費

商工業振興費

・町内飲食店元気回復感謝イベント事業補助金 650万円

プレミアム付き飲食券の販売事業に係る補助金

消防施設費

・深川地区消防組合負担金 125万円

救急車のオゾン消毒器設置に係る負担金

防災費

・防災対策費 375万円

避難所のための備蓄品と備品購入に係る経費

化石レプリカ工房費

・化石レプリカ工房費 147万円

スマタネズミイルカのレプリカ作製に係る経費

〔養護老人ホーム特別会計〕

一般管理費

・養護老人ホーム事業 394万円

和風園玄関への洗面台設置や多機能加湿器設置等に係る経費

係る経費

〔特別養護老人ホーム特別会計〕

一般管理費

・特別養護老人ホーム事業 578万円

旭寿園の施設長研修、玄関への洗面台設置や多機能加湿器設置等に係る経費
【高齢者グループホーム特別会計】

一般管理費

・共同生活介護事業費 263万円

なごみの老朽化による修繕や加湿器購入に係る経費

表紙の写真

学校と共に、スポーツ少年団活動も再開。子どもたちはステイホームでたまったストレスを発散しようと張り切っていました。



◎農業委員会委員の任命

現委員の任期満了に伴い、次の方々の委員任命に同意しました。

- ・小峯 康則氏（現） ・堀田 勝氏（新）
- ・藤村 直幸氏（新） ・中村 宗寛氏（現）
- ・辻 幸一氏（新） ・宮田 茂樹氏（現）
- ・和泉 浩司氏（新） ・杉森 司氏（現）
- ・浦田 忠氏（新） ・谷口 修一氏（新）
- ・辻 則行氏（現） ・中西 範行氏（現）

◎人権擁護委員の推薦

人権擁護委員として引き続き渡部順子氏が推薦されました。

◎選挙管理委員の選挙

指名推薦により次の4名の方が選任されました。

選挙管理委員

- ・堀 裕昭氏 ・杉森 司氏
- ・谷水 敏和氏 ・越智 聡氏

同補充員（選挙管理委員に欠員が生じた場合、順次繰り上げとなります）

- ・繰上1位 池川 和男氏
- ・繰上2位 山本 孝司氏
- ・繰上3位 石脇 辰博氏
- ・繰上4位 栗中 一弘氏

第2回 定例会で議決された意見書

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める(賛成 8人、反対 1人)

右記の意見書提出を求める陳情が、2020年原水爆禁止国民平和実行委員会より提出され、審議の結果賛成多数で採択になりました。その際次のような討論が行われました。

・反対意見

日本はアメリカの核の傘に守られている現状があり、昨今の東アジアにおける安全保障状況を考えると、この意見書には反対である。

・賛成意見

この条約は世界から核兵器をなくすことを目指しており、真の平和のために必要なのは核の傘ではなく核兵器の廃絶と考えるので賛成する。

●意見書案（抜粋）

広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た2017年7月7日、歴史的な核兵器禁止条約が採択されました。核兵器禁止条約は、被爆者とともに私たち日本国民が長年にわたり熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的なものです。

一方、アメリカの「核の傘」に安全保障を委ねている日本政府は核兵器禁止条約に背を向け続けています。こうした態度をただちに改め、被爆国として核兵器全面禁止のために真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に参加、調印、批准することを強く求めます。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める(全会一致)

北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会より提出された下記意見書の提出を求める陳情は、全会一致で採択されました。

●意見書案（抜粋）

国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

1. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
2. 間伐、植林、種苗生産等を着実に進めるた

め、「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」を延長し、同法に基づく森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。

3. 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実強化すること。

町長への一般質問

問 コロナ対策にリフォーム事業の拡大を

答 国の二次補正臨時交付金を活用したい



菅 地 畑
議員

問 町内の飲食業や観光業者にとっては、新型コロナウイルスの感染拡大を食い止めるために、多岐にわたるリフォームが欠かせないものになります。そのコスト負担に対して、町がしっかりと後押しをして、安全安心な町づくりを目指すことが肝要です。

そこでまず、既存のリフォーム事業の執行状況はどうなっているか。

二つ目に、一般住宅に限定されている既存のリフォーム事業を、事業所店舗等のリフォームに拡充すること、町全体として感染症予防対策に活用できないか、

考えを聞きたい。



令和2年度のリフォーム事業について

では、25件を想定し625万円の予算でスタートしているところですが、今のところ23件で336万円の交付決定をし、町内各所で活用いただいている状況です。

既存のリフォーム事業に対して、感染予防対策の充実に活用をできないかという質問ですが、ここまでの新たな生活スタイル対応については、必要な状況だろ

＝解説＝

既存のリフォーム事業は、個人の住宅に対して適用されるものなので、商工業者のコロナ対策関連については、国の二次補正臨時交付金を活用した上で、4月に遡って適用されることも想定されます。

うと私も思います。特に影響度合いが大きい飲食店、理美容業、小売販売業などについては対面での対応は必須です。今後国の二次補

正臨時交付金を活用し、既存事業の中に支援枠を追加した上で、店舗の改修や設備の導入について支援策を考えていきます。

問 沼田町で働く人に賃金格差はないか

答 企業から必要な経費の要望があれば協議には応じる



暁 原 篠
議員

援がないのであれば、町独自に行うことはできないのか。

今年4月から公務の職場で働く臨時職員は制度が変わり、会計年度任用職員となつて、ボーナスが支給されることになりました。一方、町が民間に委託や指定管理を行う職場ではそれがありません。このような格差をなくすために、町として事業者に待遇改善を要望する考えはないか。

問

国によるコロナ対策として、医療従事者や介護従事者に「慰労金」が給付されることになりました。しかし、同様に感染リスクがある中で働いている保育や児童福祉従事者は対象外で、関係団体から国に要望も出ています。国の支

篠原議員のそのほかの質問

問 JR留萌本線存続対策事業への新型コロナ禍の影響はないのか

答 密集にならないよう駅のガーデンングやカフェなど可能なことに取り組む



関連団体への慰労金については、

今後、国がどういった対応を取るか見極め、制度の概要を参考にしながら、町としての取るべき方策を十分検討していきたいと思えます。

町としては民間企業に対してそこで働く従業員の処遇について要請をする権限はありません。しかし、指定管理あるいは業務委託を受ける企業側から、処遇改善を含めた必要な経費として指定管理料や業務委託料の増額の要望があれば、協議に応じるということで理解をお願いします。



石狩沼田駅のガーデンング

問 家庭の水道料金の負担減を

答 優先度の高いものから対策をしたい



上野 敏夫
議員

問

コロナウイルスの影響で家庭の水道使用量も多くなっていますので、水道使用の基本料金を年間無料にする気持ちはないか聞きます。

また、財源については、災害への備えとして資金を約3億円積んであります。この感染症も災害として考え、先人が蓄えた資金を今活用し、町民に還元する考えはないか聞きます。



水道料金の減免措置は一部近隣でも行っていますが、上下水道含めると年間基本料金は約7000万円と莫大な費用が必要で、最優先事項とは考えていません。

これまでは感染への不安



生活に欠かせない水道事業

軽減、予防対策、地域経済の活性化に向けた取り組みを最優先に行い、今後とも感染防止対策、弱者対策、経済対策を並行して進め、町民に配慮した取り組みを検討していきたい。

資金の取り崩しは、今後、先の見えない状況の中で、様々な対策を講じなければならぬ時に必要なので、今すぐとは考えていません。

上野議員のそのほかの質問

問 恵比島地区の土の販売

で町民に還元を

答 趣旨には賛同できるが、農

地法や環境面からハードルは高く、慎重な対応が必要

問 衛生備蓄品の充実を

答 防災に強いまちづくりを進める



伊藤 淳
議員

問 これまで避難所などの災害設備の整備を主に行われてきましたが、衛生備品を防災備蓄品として整備することが必要と考えます。

今定例会の補正予算において、防災対策費としてマスクなどの備品購入がなされるが、町民がマスクなどを購入できない事態に、即座に配布する用意はあるのか聞きたい。



恵比島牧場跡地

また、物資が充実した場合でも予算を継続し、インフルエンザも含めた感染症対策として町民に配布したり、災害の避難訓練などで活用できないか聞きたい。

感染症などの防疫対策として、町民の健康や安全面に起因する衛生備品は、最優先に準備することが大事であり、町が備蓄計画を作成し、防災計画に盛り込み反映できないか聞きたい。



防災備蓄品はここ数年徐々にではあるが関連予算を計上し進めています。

今後においても衛生用品



店頭から消えたマスク

の調達困難を想定して、計画的に配備したい。配置する備品は町民に周知しながら、日頃の備えという観点で協力を求め、買いたくても買えない状況が発生した場合には対応していきたい。防災非常食は、期限が来る前に防災セミナーなどで有効的に活用したい。また、ある一定量の確保を常時継続していきたい。

災害時に備えた必需品の計画的な備蓄と防疫の重要性について検証し、必要に応じて計画の整備、修正を検討します。

問 コロナ禍からの新たな学校再開を

答 メンタル面を大切にできることからやる



長野 時敏
議員

問 学校再開した今、教育委員会が強いリーダーシップを持って安心と勇気を与える「沼田ならではの「一貫教育」を行うことが極めて重要です。

コロナ禍を乗り越える沼田っ子飛躍の年となることを期待し質問します。

教育長から小中学生にわかる言葉で安心と勇気を与える応援メッセージの発信が重要かつ急務です。

2点目に、家庭学習に対応できる学校ホームページの充実が急務です。

3点目に、職員間、コミ

ユニティースクール、PTAのオンライン会議など新たな体制づくりが急務です。4点目に、★「GIGAスクール」実施前のパソコン（PC）貸出などの呼びかけによるオンライン学習環境の整備が急務です。新たな学校再開を問います。

★「GIGAスクール」とは？

昨年、文科省から小中学生一人ひとりに個別最適化され、創造性を育むICT教育の実現に向けて1人1台のコンピュータ環境が示されました。



それがコロナ禍によってオンライン授業のニーズが高まり、さらに実現が早まります。

長野議員のそのほかの質問

問 コロナ時代の診療、Wi-Fi、電子決済スタイルを

答 できる事から試験運用し、来年度実現を目指す

教育長

不安を抱えている子ども達のメンタル面を大切にしたい。学校での説明が可能になれば、児童や生徒に直接、語りたいと思います。2点目は、PC配布までに行えることをやります。

問 コロナ世代と呼ばせないオンライン教育を

答 役場のコンピュータ担当者を効果的に活用



久保 元宏
議員

問 小中学生の1年間は貴重で濃密です。「GIGAスクール」1555

万円を沼田っ子の育みに活かしましょう。

「家庭のネット環境調査」や「オンライン教育着手」が、先進地より遅れた理由は、コンピュータ人材の差と考えられます。

文科省のコロナ対策による人材追加を活用すれば、情報エンジニアの組織化が

3点目は、中学校は職員間でオンライン会議を行っています。PTAについては、学校と相談します。4点目は、小・中学校にタブレットが54台あり、充足しています。不足時は検討します。

配置です。学校は「3月までにすべてを教える」責任があります。ほかの市町の子どもたちに負けない教育の機会平等をどう保証しますか。

教育長

5月から役場コンピュータ担当職員を活用し、教育委員会や学校との新たな連携が始まりました。

2点目は、小中学生に1人1台のPC配布（10月）及び教師の研修の充実です。オンライン授業、特に中3の1学期実施を検討します。

可能となり、役場、学校のオンライン化や夜高あんどん祭り、ポートハーディなどの発信も期待できるのではないのでしょうか。

2点目に、小中学生1人1台PC配布、全家庭が公平に使用できる環境整備、教師の効果的な活用、ランニングコストの計画などロードマップを示してほしい。

3点目に、沼田町のオンライン教育はまだ構想レベルであり、学習指導員は未



と共に、ゆめつくるのWi-Fi環境対応を検討します。

情報エンジニアの組織化までは考えていませんが、行政のサポート体制を整えます。

素晴らしい提案を受け、SNS発信隊など専門的な情報発信対応を検討します。

久保議員のそのほかの質問

問 高穂スキー場リフト建設の財源を検討すべきだ

答 新たな機能強化を考え理解が得られれば具体化する

問 コロナ対策に独自政策を

答 優先順位を付けてしっかりと対応したい



大沼 恒雄
議員

問

日本国内の6月17日までの累計の感染者数は1万7628人で長期化する予想です。ブラックアウトや地震・火災など災害が絡んだ時にどう対応するという問題も出てきます。

全国市町村会ではコロナウィルス対策において感染症予防対策地域経済対策などの緊急提言として財政措置も求めているようです。

国の支援では一部足りない、地域の実情に合っていないということですが、独自の制度を行っている地方自治体も多くあり地域の皆さんの安堵感を生んでいると感じています。

飲食店支援事業などは行われてはいますがコロナウ

イルスが終息していない現状では一般市民への配慮がまだ不足しているのではないかと思います。

沼田町は子育て日本一を掲げているし、雑誌で住みやすい田舎暮らしにも選ばれている町ですから、そういったことを胸の中において一歩進んだ政策を考えていただきたいと思っています。

沼田独自の横山町長が考える町民に対する政策を何か一つうちだしていただきたい。



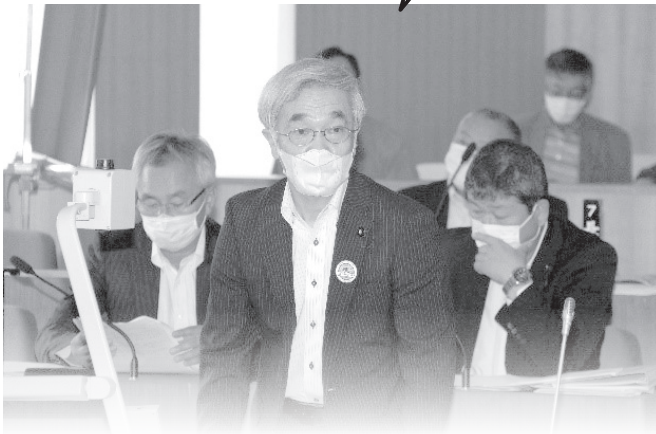
色々と優先順位をつけながら、困っている方への対応を早急に行っていました。

このあと国の二次補正の概要がまだ何も来ておりませんので、詳細が分かり次第早急に対応します。

次につながる町民に配慮したそんな取り組みにできるようにしたいのでご理解をお願いしたいと思います。

傍聴席の生の声

感染症関連の質問が多い定例会であった、今後の町の活性化に向けた質問が少なかった。
(60代 男性)



今回の定例議会の傍聴者は、15名でした。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

20年度

第2次補正予算の概要

歳出総額

31兆9114億円

●雇用調整助成金の拡充	4519億円
●企業の資金繰り支援	11兆6390億円
●中小企業などに家賃支援給付金	2兆242億円
●医療提供体制の強化	2兆9892億円
●その他の支援	4兆7127億円
●自治体向けの臨時交付金増額	2兆円
●持続化給付金の拡充	1兆9400億円
●低所得のひとり親世帯への給付	1365億円
●文化芸術活動への緊急総合支援	560億円
●農林漁業者向け経営継続補助金	200億円
●予備費	10兆円

国から示された補正予算の大枠

沼田町には約1億5千万円が配分されており、これから具体的なコロナ対策事業が実施される。

町議会のホームページを
ご利用ください

過去の議会広報誌や、
議事録が見られます。

「沼田町議会」で検索!

スマートフォンはこちらから



第3回臨時会

令和2年4月28日

◎町条例の一部改正

- ・国民健康保険税条例の一部改正
- ・後期高齢者医療に関する条例の一部改正

◎令和2年度一般会計補正予算

- ・ゆめつくる非常用発電設備工事契約 6325万円
- ・防災無線デジタル化整備工事契約 1億3200万円増
- ・除雪ドーザーに係る物品購入契約 1914万円増
- ・新型コロナウイルス予防対策費（マスクほか） 229万円増
- ・元氣回復！親子リフレッシュ支援事業補助金 89万円
- ・経済対策支援金 987万円
- ・中小企業特別融資貸付金 2000万円増

◎養護老人ホーム（和風園）特別会計補正予算

- ・LED照明化ほか 3561万円増

◎国民健康保険特別会計補正予算

- ・コロナウイルス感染した場合の疾病手当金 50万円増

第4回臨時会

令和2年5月8日

◎令和2年度一般会計補正予算

- ・児童手当上乗せ給付金 子育て世帯の生活支援 280万円
- ・特別定額給付金 3028万円

第5回臨時会

令和2年5月29日

◎令和2年度一般会計補正予算

- ・GIGAスクール備品購入 1555万円



総務民教建設常任委員会 意見書

第2回沼田町議会定例会において、大沼恒雄委員長より次の意見書案の提出があり、可決されました。

議会の動き

防災・減災・国土強靱化のための緊急対策強化を求める国への意見書

大規模な地震や津波、集中豪雨といった自然災害が、近年、全国各地で頻発しており、住民の尊い生命や財産を奪うなど甚大かつ深刻な被害を及ぼしています。

北海道においても平成30年9月6日に胆振東部地震が発生し、広大な大地が一瞬にして電力を失う等、重大な事態が起きています。

各自治体においては、財政が厳しい状況の中、地域の安全と住民生活を守るために「緊急防災・減災事業債」を積極的に活用し、指定避難所の非常用発電機整備等、様々な対策を進めてきたところであります。

しかし、避難すべき公共施設の老朽化など、未だ十分な対策ができていない状況にあります。「緊急防災・減災事業債」は、地方自治体にとって極めて重要な財源保障となっており、本制度の延長と対象事業の拡充を進めることが、住民の防災意識の高まりを促し、地方の実情に応じた防災・減災対策を計画的に取り組みられるものと考えます。

今後、新たな感染症対策も踏まえ、本町のみならず全国の自治体がよりスピード感をもって防災・減災対策に取り組むことを可能とするため、次の事項について要望いたします。

- 1 地域の要望に即した、防災・減災対策などの国土強靱化の促進に必要な予算枠を拡充すること。
- 2 「緊急防災・減災事業債」制度の延長と対象事業の拡充の措置を講ずること。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣

議員セミナーを開催

7月15日に産業福祉常任委員会（上野敏夫委員長）と総務民教建設常任委員会（大沼恒雄委員長）による、議員セミナーを開催しました。まず始めに、ゆめつくるの裏にある雪の科学館で、保存されている桜の開花状況を視察。その後町内数力所に分かれ、最近注目度が上がっているリモート会議を実際に体験しました。

●雪氷桜の保存状況を視察

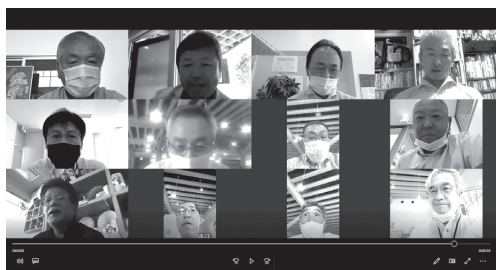
沼田町で雪山に埋めて開花を遅らせていた「雪氷桜」は、本来であれば今年予定されていた東京オリンピックで、マラソンコースの沿道を飾るはずでした。雪から掘り出されて開花した桜の枝は、出番は変わりましたが今後町内のイベントなどで活用されます。



見事に開花した桜を見学

●リモート会議の研修

コロナ禍で三密を避けるための「リモート会議」が増えています。私たち議員も、災害など緊急時に集合できない事態を想定し、自分のパソコンやスマホでの体験を行いました。



Zoomで会議を体験中

シリーズ検証

一般質問のその後を追う

議員が定例会ごとに行う一般質問は、町政についてただしたり、町民の生の声を届けるために行っています。しかし、その時限りで終わってはいないのか。そこで、議会で取り上げた内容がその後どうなったかをシリーズで追ってみます。実現したものだけでなく、途上のものは実現の可能性を探ります。

第1弾は昨年6月の定例会における上野議員の質問です。



質問をする上野議員

スポーツ環境の改善について 上野 敏夫

スポーツ環境の改善について、日頃町民体育館で練習をしているバレーボール少年団のみなさんが、鉄製の支柱が重すぎて設置に苦労している実情があり、昨年6月の議会で町長と教育長に質問しました。

その後、新規格の用品購入に補正予算が組まれ、カーボン製の軽い支柱とネット等が町民体

育館、小学校、中学校に配置され、安心安全に練習できる環境が整いました。

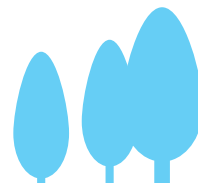
■経 過

- ・一般質問：令和元年6月20日
- ・予算議決： // 9月18日
- ・発注： // 9月26日
- ・納品・設置： // 11月6日

新しくなった道具を活用して、練習に励む沼田中学校バレー部の皆さん



議会は動きます！



議会改革特別委員会（鵜野範之委員長）は全議員で構成し、令和元年6月に設置。現在までに9回の特別委員会を開催しています。平成17年の「議員定数及び議会活動等調査特別委員会」の答申や平成26年までの「議会活性化の取り組み」を受け、過去の検証結果の確認と現在の議会の在り方や進む方向性について、検討途中であり、様々な議論を行っています。

議会改革特別委員会は、住民から求められる議会の使命を確認し、開かれた議会を目指すため、魅力ある議会を構築することを目的とし、大きく4項目に分け議論を進めています。

検討項目

① 議会の運営

- ・ 議会傍聴の推進
- ・ 議会モニター制度
- ・ 議会傍聴の環境整備など

② 町民に開かれた議会

- ・ 議会ICTの取り組み
- ・ 議会サポーター制度

議会モニター制度とは

町議会の運営等に関し、町民からの要望、提言その他の意見を広く聴取し、町議会の改革・活性化の推進及び政策提案機能を強化することが目的となります。



議会改革特別委員会の様子

④ 議員定数など

- ・ 議会報告と町民との意見交換 など
- ③ 議員活動の向上と倫理
- ・ 議会政策形成サイクル
- ・ 議会BCP（業務継続計画）策定 など

議会モニターを募集しています。

議会に対し皆様のご意見、ご提案をお聞かせください。

主な内容は

- ・ 定例会や委員会の傍聴と評価
- ・ 議会広報誌やホームページの評価
- ・ 町議会議員との意見交換 など是非ご参加をお待ちしています。

お申込み・詳しい内容のお問い合わせは

沼田町議会

(0164) 35-2117まで

議会サポーター制度とは

町議会の運営等に関し、有識者からの提言その他の意見を広く聴取し、町議会等に反映させ、町議会の円滑かつ民主的な運営を推進することが目的となります。

議会ICTの取り組みとは

町民に対して議会の最新情報の提供と議会内情報の一元化を図り、議会及び議員活動の積極的展開に活用する目的となります。

（例）本会議のインターネット中継や録画配信、タブレットを活用した情報の集約・意見交換での利用 など）

議会改革特別委員会

町民の皆様と共に



スクリーンを利用した定例会での一般質問

出来ることから始めます

議会傍聴の環境整備

定例会に一人でも多くの方に議会傍聴に来ていただきたいという思いから、言葉だけでなくスクリーンにグラフなどを映して傍聴者にも分かりやすく内容を伝えようと、一般質問にて活用しました。今後においても、設置の仕方や使用方法を工夫し、改善をして行きます。

議会傍聴の推進

平日の日中に行われる定例会では、議会傍聴に来ることが出来ない町民の方も多くいることから、9月に行われる第3回定例会において「ナイター議会」を開催する予定となっています。詳しい日程や時間については改めてお知らせをさせていただきます。

内容は一般質問を数件と考えていますので、議場まで足を運んでいただきますようお願いいたします。

議会モニター制度の導入

7月9日より議会モニター募集のチラシを町の区長発送にてお配りしています。議会に関心や興味のある方は、お問い合わせだけでも結構ですので、議会事務局までご連絡をお願いします。



公開研修会を開催します。

議会の役割などについて議会サポーター講演研修会を行いますので町民の皆様も是非ご参加ください。

日 付：8月29日（土）

受 付：13時より 開始：13時30分

場 所：沼田町健康福祉総合センター

ふれあい 1階 すこやかホール

講 師：土山 希美枝氏（龍谷大学政策学部 教授）

西科 純氏（北海道自治体学会

議会技術研究会共同代表）

お越しいただく際はマスクの着用などをお願いいたします。

議会サポーター制度の導入

議会運営に精通されている研究者や有識者、議会改革をご指導いただいている実務者などを議会サポーターとして委嘱し、主に議員研修の講師や議会運営上の助言をいただき、議会の活性化を図っていきます。

一般質問の追跡調査

議員が一般質問した内容が、行政の取り組みにどのようにつながっているのか、また、実現に至らない場合でもその可能性について議会広報誌「みんなの議会」の中で検証していきます。

みんなの広場

沼田ならではの教育に感動



いいづか ひろあき
沼田学園沼田中学校 教頭 飯塚 博明

昨年4月に滝川市より赴任してまいりました。学生時代を含め30年間過ごした空知は、私の「ふるさと」と思っています。沼田中学校では、明るく素直で、時にエネルギッシュな生徒達と教科指導や生徒指導に情熱を注ぐ教職員に刺激を受けながら勤務しています。

今年度は、合同運動会、夜高あんどん祭り等の一大イベントをはじめ、中体連等の各種大会、吹奏楽コンクールも中止となりました。大変残念に思っていたところですが、多くの方々の支援により、代替となる活動も計画され、実施に向かっています。感謝、感謝の気持ちの一方で、子ども達の成長のために力を尽くす沼田町の気風と現状を悲観的に捉えるのではなく前向きな生徒達の姿勢に感動させられるばかりです。

沼田学園開校3年目となり、一貫・連携教育の充実が望まれます。今後も将来を見据え、持続可能でより効果的な取組を維持継続、創造深化させていきます。そして、子ども達に「沼田っ子で良かった」と思ってもらえるよう、地域の方々とともに教育活動に取り組んでいきたいと思っています。



沼田中学校3年生 修学旅行の事前学習(自主研修計画)の様子

広報特別委員
長野時敏 篠原 暁
上野敏夫 畑地 誉
伊藤 淳

地球温暖化により、シベリアの永久凍土が解けています。氷点下67・8度を記録した町ベルホヤンスクでは6月20日に38度まで上昇したそうです。永久凍土が解けてオイルが漏れたですが、ユースが報じられましたが、氷に閉じ込められていた未知のウイルスが世界を襲う心配もされているようです。少し前までは物が自由に移動し、海外旅行者、外国人労働者などの流入を当たり前のようになら考えていたが、むやみに自然界を荒廃する開発行為を控え、自給率をあげ自国の食料を確保する、持続可能な社会を構築するには、これまでの世界観・価値観を変えないといけません。地球環境への配慮は待ったなしと言えます。新型コロナウイルスがもたらす社会、ポストコロナの時代に私たちはどのような価値観で臨むべきか悩みは尽きません。

あとがき

退任議員とのパークゴルフ

毎年恒例であります退任議員とのパークゴルフ大会が24名の参加で7月16日に行われました。
コロナウイルスに配慮し懇親会を自粛しての開催でしたが、プレーに集中した退任議員チームが連覇の結果となりました。



退任議員会長 川邊敏隆さんの挨拶でスタート!



<成績発表>

団体の部

優勝：退任議員会

個人賞

スコア

優勝 津川 均氏 55

2位 高田 勲氏 57

3位 野 道夫氏 58

ドラコン・ニアピン 久保元宏氏

ニアピン 上野敏夫氏